

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 「こども誰でも通園制度」は、子どもにとってどんな良い点があるでしょう。□にあてはまることばを本文中から抜き出しましょう。

以外の人たちと接することで
 が促される

2 「こども誰でも通園制度」は、親にとってはどんな良い点があるでしょう。10文字以内で二つ、本文から抜き出しましょう。

①

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 「こども誰でも通園制度」によって心配されることは何でしょう。あてはまることばを本文中から抜き出しましょう。

慢性的に人手が している保育の現場では の が重くなるおそれがある。

「誰でも通園」全国で開始 成長支援、親の育児負担軽減

親が働いているかどうかに関係なく、子どもを預けられる「こども誰でも通園制度」が1日、全国で始まった。生後6カ月～3歳未満の未就園児が対象。子どもは家族以外の人たちと接することで成長が促され、親は育児負担の軽減や孤立の解消につながると期待される。一方で保育士など現場の人手は慢性的に不足し、業務の負担が重くなることも懸念される。

親が働いているかどうかに関係なく、生後6カ月から3歳未満の未就園児を保育所や幼稚園などに預けられる

専門主婦・主夫世帯や育児休業中の子育て世帯が利用できる。障害児の受け入れも可能

利用時間は子ども1人当たり月10時間まで

利用料は1時間300円を目安に施設側が設定

「こども誰でも通園制度」のポイント

施設側が自由に設定でき利用したい場合は自治体や制度の専用サイトから申請し、希望する施設を探して申し込む。

制度は2024年度から一部の自治体で試験的に始まり、25年12月時点で231自治体が導入した。保育士や施設を確保するのが難しい自治体向けに、27年度までは利用時間の上限を抑えることができる経過措置を設けた。「月3時間以上10時間未満」の範囲で決めることができ、26年度は18府県の計36自治体が「月10時間」より短くする見通し。

制度に取り組む施設側に対し国が運営費を支給する。26年度は、0歳児1人につき1時間1700円、1～2歳児が1400円。障害児を受け入れた場合や、育児に悩む保護者の相談に応じた場合は支給額を加算する。

財源の半分は公費。もう半分は26年度から公的医療保険料に上乗せして徴収する「子ども・子育て支援金」で賄う。

千葉県野田市の認定こども園「やなぎさわ幼稚園・保育園」は1日、通常の保育とは別に制度の利用で子ども5人を受け入れた。



「こども誰でも通園制度」を利用し、千葉県野田市の認定こども園「やなぎさわ幼稚園・保育園」に預けられた子ども1日

